

令和3年9月11日

令和3年度学校関係者評価委員会報告書

学校法人郷学舎
アルスコンピュータ専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検評価委員会が作成した令和2年度自己点検・評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を実施しました。令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり報告します。

記

1. 開催日時

令和3年8月25日（水） 14：30～16：00

2. 場所

アルスコンピュータ専門学校 101教室

3. 学校関係者評価委員

【関連業界関係者】

- ① 大久保 和政 氏（熊谷商工会議所 会頭）*当日欠席の為、事後ヒアリング実施
- ② 大島 匡 氏（医療法人くぼじまクリニック 事務長）
- ③ 河邊 弘子 氏（学校法人熊谷ルンビニー学園 摩耶幼稚園 園長）
- ④ 中尾 洋道 氏（株式会社明幸フォーラム 代表取締役）
- ⑤ 村松 忠治 氏（株式会社テクニカル・ソリューション 代表取締役）

【教育関係者】

- ⑥ 中村 克彦 氏（元深谷市教育委員会 教育長）

【地域代表】

- ⑦ 和田 広之 氏（一般社団法人 さいしんコラボ産学官 専務理事）

【保護者代表】

- ⑧ 大城 亜弓 氏（在校生保護者）

【卒業生代表】

- ⑨ 隅田 和利 氏（第5期卒業生）*当日欠席の為、事後ヒアリング実施

【事務局（学校側）】

- ① 新井 公一（学校法人郷学舎 理事長）
- ② 荻野 欣男（アルスコンピュータ専門学校 校長）
- ③ 正田 淳一（アルスコンピュータ専門学校 副校長）
- ④ 籠原 智恵（アルスコンピュータ専門学校 教務部課長）
- ⑤ 戸川 千詠子（アルスコンピュータ専門学校 福祉保育科学科長）
- ⑥ 長瀬 あゆみ（アルスコンピュータ専門学校 情報ビジネス科学科長）
- ⑦ 皆川 博（アルスコンピュータ専門学校 情報システム科学科長）
- ⑧ 田口 紀子（アルスコンピュータ専門学校 総務部主任）

4. 学校関係者評価委員会 次第

1. 開会
2. 委員の委嘱
3. 委員紹介
4. 学舎長挨拶
5. 理事長挨拶
6. 校長挨拶
7. 委員長の選出
8. 協議【中村委員長により議事の進行が行われた】
 - ①学校関係者評価委員会について
 - ②学校基本情報と近況報告
 - ③令和2年度自己点検評価結果について
 - ④令和2年度重点項目の達成状況報告
 - ⑤令和2年度自己点検評価項目取り組み状況報告
 - ⑥令和3年度重点目標について
 - ⑦意見聴取
 - ⑧その他
9. 閉会

5. 学校関係者委員会報告

～各項目に関する学校関係者評価委員の評価・意見～

重点目標①について

- ・新設される AI エンジニアコースは、時代のニーズに即していると思うので、大いに期待したい。
- ・日本情報技術取引所 (JIET) は 800 社ほどの会員がいる。AI エンジニアの需要は、現状では 1 割程度の企業 (AI の自社パッケージを開発している企業) が、AI 人材を必要としている。まだまだ実験段階であるが、これからは更に広がっていく分野である。
- ・IoT 技術は、企業が行うよりも専門学校等で積極的に進めて頂きたい。
- ・IoT の勉強をするとき、企業と連携して行政の河川センサーをテスト的にやらせてもらえば、学生にとっても勉強になる。行政と協力して勉強することができれば、学生の実務的な経験になると思う。

重点目標②について

- ・退学率の上昇が抑えられているのは、素晴らしいこと。退学防止会議等での取り組みの成果ではないか。引き続きを取り組みと分析を継続して頂きたい。

基準1. 教育理念・目的・育成人材像

- ・IT 業界は人材不足である。
- ・自社パッケージ開発を行っているような企業が AI 人材を必要としている。

基準2. 学校運営

- ・特になし。

基準3. 教育活動

- ・テレワークが継続される中、モチベーションの維持と前向きに新しい分野にチャレンジする精神を切り開けるようなコミュニティの形成をして頂ければ、就職活動に対しても強い学生になるのではないかな。
⇒卒業研究などグループ制作を通じて、プロジェクト管理などを行いながら、協働作業の取り組みを行っている。オンラインでの学修効果が課題である。

基準4. 学修成果

- ・IT 業界は人材不足。コロナ禍で入社してからもリモートやテレワークの新入社員がいる。モチベーションの低下や心のケアを先輩社員や上司も不安視している。
- ・離職率も調査分析をしているのはよいと思う。現在は売り手市場なので企業との連携をしっかりとつなぐ必要があるのではないかな。

- ・学校だけではなく、企業も新入社員の離職分析をするべきである。

基準5. 学生支援

- ・特になし。

基準6. 教育環境

- ・新型コロナウイルスが災害的感染爆発となっている中、オンラインシステム (Microsoft Teams)、ビデオなどを活用して授業がしっかり行われている。

基準7. 学生募集と受入れ

- ・コロナ禍により直接の面談等が難しい中、学生募集が順調なのはよいこと。
- ・保育士、幼稚園教諭を目指す学生が減少している。福祉保育科の募集停止は残念であるが、在籍している学生がよりよい保育者を目指せるように指導をお願いしたい。

基準8. 財務

- ・特になし

基準9. 法令等の遵守

- ・自己点検評価の内容が充実していて、適切に実施されている。
- ・ハラスメントとコンプライアンスについて、窓口をどう作るのか、対応はどのようにするのか、内部対応なのか、社労士が対応するのかなど、問題はあるかと思いますが、このような時期でもあるので早めに対応するのが、社会情勢上よいのではないかと思います。
⇒コロナ禍のため、先延ばしになってしまったが、早めに対応していきたい。

基準 10. 社会貢献・地域貢献

- ・特になし

【学校関係者評価委員会総括】

学校関係者評価委員会として、令和2年度自己点検評価報告書の内容について確認及び承認を行いました。

以 上

【学校関係者評価委員会からのご意見を受けて】

委員の皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、地域に根差した専門学校として使命感をもって教育活動をすすめてまいります。

コロナ禍ではありますが、学修成果の可視化、計画的な指導を行い、学生支援についても学生・保護者との連携を更に強化し、継続的な取り組みを行っていきたく思います。